

105-338

問題文

今回の検査値の異常と関連性が高く、疑義照会すべき優先順位の高い医薬品はどれか。2つ選べ。

1. エブレレノン錠
2. リナグリプチン錠
3. ピタバスタチンカルシウム錠
4. カルベジロール錠
5. ペリンドプリルエルブミン錠

解答

1, 5

解説

K 値の基準値目安は まず大雑把に 4 ± 0.5 ぐらいの範囲で、上は 5.0 ぐらいまで、です。高 K と判断します。

エブレレノン（セララ）は選択的アルドステロンブロッカーです。K 保持性利尿薬です。高 K 血症が見られるため、疑義照会すべきと考えられます。

リナグリプチン（トラゼンタ）は、〇〇グリプチンなので、DPP-4（Dipeptidyl Peptidase-4）選択的阻害薬です。

ピタバスタチン（リバロ）は、スタチン系、HMG - CoA 還元酵素阻害剤です。

カルベジロールは、 α, β 遮断薬です。

ペリンドプリル（コバシル）は、持続性組織 ACE 阻害剤です。レニン-アンギオテンシン系の抑制により、高 K 血症を引き起こす可能性があるため、疑義照会すべきと考えられます。

以上より、正解は 1,5 です。